

令和2年度第1回理事会議決

事業報告書

【平成31年度】

(平成31年4月1日乃至令和2年3月31日)

公益財団法人 前川報恩会

目 次

I. 法人の状況に関する重要な事項	3
1. 法人の概要	3~4
2. 事業の概要	5
(1) 事業の実施状況	5~8
(2) 役員会等に関する事項	8~9
(3) 正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移	10
3. 法人の課題	10
4. 株式保有している場合の概要	11
5. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	11
II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要	11
III. 附属明細書	11
(添付資料1) 平成31年度学術研究助成 助成先一覧表	12~13
(添付資料2) 平成31年度地域振興助成 助成先一覧表	14
(添付資料3) 平成31年度福祉助成 助成先一覧表	15~16

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 法人の概要

(1). 設立年月日

昭和42年12月22日（平成28年4月1日～ 公益財団法人）

(2). 定款に定める目的（定款第3条全文抜粋）

この法人は、学術の振興、科学技術の発展、地域の活性化、福祉の向上等に資する助成について、我が国独特の文化・伝統・風土を重んじつつ、時代の要請にも適った方法によりこれを行い、もって民族の永遠につながる発展を期し、より良い人類社会の実現に寄与することを目的とする。

(3). 定款に定める事業内容（定款第4条全文抜粋）

この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ・学術及び科学技術の振興を目的とする助成
- ・地域社会の健全な発展を目的とする助成
- ・障がい者の支援を目的とする助成
- ・その他本財団の目的を達成するために必要な事業

(4). 所管官庁に関する事項

内閣府 公益認定等委員会

(5). 会員の状況

該当なし

(6). 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所：東京都江東区牡丹三丁目10番7号
上記以外の事務所・支部はなし

(7). 役員等に関する事項

令和2年3月31日現在

職名	常勤/ 非常勤	氏名	就任年月日	職務	職業
理事長	非常勤	篠崎 聡	H30.6.19	—	株式会社前川総合研究所 代表取締役
理事	非常勤	山本 良一	H30.6.19	—	東京大学 名誉教授
理事	非常勤	古在 豊樹	H30.6.19	—	千葉大学 名誉教授
理事	非常勤	赤塚 光子	H30.6.19	—	元立教大学 教授
理事	非常勤	石井 徳章	H30.6.19	—	大阪電気通信大学 名誉教授
理事	非常勤	眞田 勝	R1.6.19	—	元株式会社前川製作所 技術研究所 副所長
理事	常勤	法堂 正宏	R1.6.19	—	事務局長
監事	非常勤	山田 良子	H30.6.19	—	中小企業診断士・認定事業再生士
監事	非常勤	南久松 宏光	R1.6.19	—	公認会計士・税理士

職名	常勤/ 非常勤	氏名	就任年月日	職務	職業
評議員	非常勤	中章	H29.6.27	—	
評議員	非常勤	鶴飼 信一	H29.6.27	—	早稲田大学名誉教授
評議員	非常勤	畑村 英司	H29.6.27	—	元広島県庁
評議員	非常勤	前川 真	R1.8.29	—	株式会社前川製作所 代表取締役社長
評議員	非常勤	柱本 修	R1.8.29	—	国際熱帯木材機関 事務局次長

(8). 職員に関する事項

令和2年3月31日現在

職員数		前期末比増減
男子	1名	+0名
女子	1名	+0名
合計または平均	2名	+0名

(9). 認可等に関する事項

連絡年月日	事項	履行状況
令和1年6月26日	事業報告等の提出	完了
令和1年7月22日	変更の届出（役員等の報酬・費用変更）	完了
令和1年9月20日	変更の届出（評議員の変更）	完了
令和2年3月18日	事業計画書等の提出	完了

2. 事業の概要

(1) 事業の実施状況

①学術及び科学技術の振興を目的とする助成（定款第4条第1項第1号）

平成31年度も、環境配慮型のエネルギー利用・開発又は食料生産・流通の改善に資する研究に対する助成を行った。募集結果・採択状況の概略は下表の通りであり、詳細は添付資料1に記載する。

募集内容	予算	申請 件数	申請金額	採択 件数	採択金額
A-1. 食料・食品の生産・加工・流通・保存・備蓄に関わる研究					
A-2. 再生可能エネルギーに関わる研究	¥23,000,000	62件	¥151,457,596	13件	¥21,700,000
A-3. 環境保全・地球温暖化防止・エネルギーの変換/貯蔵/輸送に関わる研究					

令和1年9月1日から9月30日にかけて当財団のホームページ上にて一般公募を行った結果、全体で62件の申請があり、令和1年11月20日の学術研究助成選考委員会においてこれらの申請を審査した結果、合計13名に対する¥21,700,000を採択候補とした。

平成31年度第3回理事会（令和1年12月9日）において、総計13名に対する¥21,700,000の助成を決定し、これを実行した。

また、平成30年度に助成した13名¥21,100,000に関する報告書の評価委員会を令和2年3月4日に開催した。選考委員の評価合計点及び取組内容の成果を考慮し、うち2名を、令和2年5月23日に都内へ招致し、今後の事業の発展のために直接報告を受けることにした。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年9月の開催予定に変更した。

なお、平成30年度助成金交付者のうち1名、九州工業大学生命体工学研究科准教授、脇坂港氏においては、助成金¥2,100,000が未使用（研究中断）のため、全額返金された。

この返金額（¥2,100,000）は、平成31年度の雑収益にて計上している。

②地域社会の健全な発展を目的とする助成（定款第4条第1項第2号）

平成31年度も、天然資源及び文化的資産を保全・活用し、地域の発展に寄与する事業に対して助成金の交付を行った。募集結果・採択状況の概略は次表の通りであり、詳細は添付資料2に記載する。

区分	募集内容	予算	申請 件数	申請金額	採択 件数	採択金額
①	多世代が参与し、高齢層から若年層への伝承が含まれる天然資源及び文化的資産の保全・活用を通じ、当該地域のコミュニティの発展に寄与する継続的事业	¥5,000,000	16件	¥10,824,017	9件	¥4,966,800
②	地域に根ざした未利用エネルギーの有効活用、もしくは農と食のイノベーションと地域力アップに繋がる事業					

令和1年8月1日から8月31日にかけて当財団のホームページ上にて一般公募を行った結果、全体で16団体の申請があり、令和1年10月15日の地域振興助成選考委員会においてこれらの申請を審査した結果、合計9団体に対する¥4,966,800を採択候補とした。

平成31年度第3回理事会（令和1年12月9日）において、総計9団体に対する¥4,966,800の助成を決定し、これを実行した。

また、平成30年度に助成した6団体¥4,729,000に関する報告書の評価委員会を令和2年3月3日に開催した。選考委員の評価合計点及び取組内容の成果を考慮し、うち2団体を、令和2年5月23日に都内へ招致し、今後の事業の発展のために直接報告を受けることにした。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年9月の開催予定に変更した。

③障がい者の支援を目的とする助成（定款第4条第1項第3号）

平成31年度も、社会福祉の向上を目的として、障がい者を援護する団体の取り組みに対して援助を行った。募集結果・採択状況の概略は下表の通りであり、詳細は添付資料3に記載する。

募集内容	予算	申請 件数	申請金額	採択 件数	採択金額
1. 障がい者の生活支援 や就労支援の環境改善 に資する物品	¥9,000,000	56件	¥36,543,130	23件	¥8,760,720
2. 障がい者の福祉向上 に資する取り組み					

令和1年7月1日から7月31日にかけて当財団のホームページ上にて一般公募を行った結果、56団体の申請があり、令和1年9月20日の福祉助成選考委員会においてこれらの申請を審査した結果、合計23団体に対する¥8,760,720を採択候補とした。

平成31年度第3回理事会（令和1年12月9日）において、総計23団体に対する¥8,760,720の助成を決定し、これを実行した。

また、平成30年度に助成した20団体¥9,003,760に関する報告書の評価委員会を令和2年3月5日に開催した。選考委員の評価合計点及び取組内容の成果を考慮し、うち2団体を、令和2年5月23日に都内へ招致し、今後の事業の発展のために直接報告を受けることにした。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により令和2年9月の開催予定に変更した。

③ 助成者代表成果発表会

令和1年5月18日13時～16時に、(株)前川製作所本社ビル内共創ホールにて、助成者代表成果発表会を開催した。

発表者は次頁のとおり、平成29年度に於ける学術研究助成代表2名、地域振興助成代表2団体、福祉助成代表2団体が、10～15分間のスピーチとプレゼンテーションによる成果発表を行った。発表者のプレゼンテーションに対して、各分野の選考委員の先生方より簡単な評価をしていただき、出席者からの質疑応答がなされた。

なお、この発表会には評議員・理事・監事・選考委員・有識者ゲスト等合計40名が出席した。

「発表者一覧表」

助成事業	氏名・団体名	発表内容
学術研究助成	山形大学 准教授 星野 友紀 氏	環境変動に適応可能な穀物の品質安定化遺伝子の同定
	東北大学 助教 原田 尚之 氏	IoT に向けた表面プラズモンによる微小素子への電力供給法の開拓
地域振興助成	一般社団法人四日市大学エネルギー環境教育研究会	里地・里山の衰退に向き合う～持続可能なまちづくり八郷～
	セ・カ・イ（繊維・会館・一宮）建築チーム	近代建築再生スクール 現代アートプログラム「（仮）尾州の起点」
福祉助成	美作大学	発達障害者向け健康料理レシピ開発及びレシピ本の刊行・配布
	特定非営利活動法人視覚障がい者ネットワークコトリナ	音声で書籍や各種情報を得る体験により視覚障害者の QOL 向上

なお、「令和 2 年度助成者代表成果発表会」の発表予定者は下記のとおりである。

※平成 30 年度助成対象者

助成事業	氏名・団体名	発表内容
学術研究助成	鳥取環境大学 准教授 戸苺 丈仁 氏	マイクロ波照射を用いた省エネ・創エネ型メタン発酵加温システムの開発
	東北大学 助教 横山 俊 氏	太陽電池高効率化を目指した Cu ナノワイヤと酸化物の複合透明導電膜の創製
地域振興助成	特定非営利活動法人大森まちづくりカフェ	おおたユニバーサル・ワークショップ～地域資源のものづくりを未来へつなぐ
	特定非営利活動法人エコビレッジあば	黒岩高原の湿原の修復作業と小水力発電事業化に向けた取組
福祉助成	公益財団法人東日本盲導犬協会	床置き式体重計（HW-3500）2 台
	公益財団法人日本ダウン症協会	ダウン症版母子手帳「ダウン症子育て手帳」の印刷

(2) 役員会等に関する事項

①理事会

平成 31 年度第 1 回理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 1 年 6 月 3 日	1. 平成 30 年度決算報告に関する件 2. 平成 30 年度事業報告に関する件 3. 平成 31 年度第 1 回評議員会開催に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

平成 31 年度第 2 回理事会

決議があったとみなされた日	議 事 事 項	会議の結果
令和 1 年 9 月 25 日	1. 決算書訂正の件	理事全員の同意及び監事の異議無し

平成 31 年度第 3 回理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 1 年 12 月 9 日	1. 平成 31 年度学術研究助成に関する件 2. 平成 31 年度地域振興助成に関する件 3. 平成 31 年度福祉助成に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

平成 31 年度第 4 回理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 2 年 3 月 9 日	1. 令和 2 年度資産運用方針に関する件 2. 令和 2 年度収支予算に関する件 3. 令和 2 年度事業計画に関する件 4. 令和 2 年度資金調達及び設備投資の見込みについて	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

②評議員会

平成 31 年度第 1 回評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 1 年 6 月 18 日	1. 平成 30 年度決算報告承認に関する件 2. 理事の任期満了による重任に関する件 3. 常勤理事（新任）選任に関する件 4. 監事退任（任期満了）による新監事選任に関する件 5. 役員等の報酬、及び費用に関する規程の変更承認に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

平成 31 年度第 2 回評議員会

決議があったとみなされた日	議 事 事 項	会議の結果
令和 1 年 8 月 28 日	1. 評議員選任の件	評議員全員の同意及び監事の異議無し

平成 31 年度第 3 回評議員会

決議があったとみなされた日	議 事 事 項	会議の結果
令和 1 年 9 月 25 日	1. 決算書訂正の件	評議員全員の同意及び監事の異議無し

(3). 正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

事業年度	H28年3月期	H29年3月期	H30年3月期	H31年3月期	R2年3月期
期首正味財産残高	3,765,028,037	3,739,010,202	3,691,721,588	3,809,542,371	3,820,615,229
当期経常収益合計	67,387,542	51,671,577	50,767,513	55,807,722	55,386,113
当期経常費用合計	51,394,145	58,347,084	53,901,366	56,635,716	60,102,272
評価損益等計	△42,011,232	△40,613,107	24,971,364	17,959,652	△9,804,262
当期経常増減額	△26,017,835	△47,288,614	28,105,217	17,131,658	△14,520,421
当期経常外増減額	0	0	0	△6,058,800	0
期末正味財産残高	3,739,010,202	3,691,721,588	3,809,542,371	3,820,615,229	3,806,094,808
資産合計	3,739,932,926	3,692,967,689	3,810,580,078	3,821,622,881	3,806,745,965
負債合計	922,724	1,246,101	1,037,707	1,007,652	651,157
正味財産	3,739,010,202	3,691,721,588	3,809,542,371	3,820,615,229	3,806,094,808

3. 法人の課題

(1) 当財団の助成事業について

設立趣意の理念を忘れずに、各助成事業（学術研究・地域振興・福祉）に於いて、今社会が求めていること、困っていることをリサーチし、小規模財団としての役割を明確にし、公益の増進に一助となるべく、助成活動を行って行く。

※学術研究助成事業では、大学所属の研究者で、科研費が獲得出来ていない若手研究者に光を当て研究助成して行く。

※地域振興助成事業では、応募件数が減少している中、対策として、本年度の応募申請期間を従前の1か月を延長し、2か月間として多くの募集がいただけるよう努力する。

引き続き地域でのSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みをテーマとして、地域に住む人びとが活動の中心になっており、地域に根ざした活動になっているか、継続性が期待出来るかに焦点を当て助成して行く。

※福祉助成事業では、長年応募件数が多い中、地域共生社会の実現に向かったの取り組みを柱に、物品購入助成と両立で、利用者主体の支援が原点であることを忘れずに、社会福祉の向上に寄与出来る様助成して行く。

(2) 当財団の財政面について

当財団は、財団運営の財源の相当部分を特定資産運用益（日本国債・先進国国債等）で賄っているため、今般の円高や新型コロナウイルスの影響により、金利の低下並びに為替等の変動リスクにさらされている。

財源確保のため、資産運用委員会等で十分議論し、資産運用規定に基づき、安定した財源確保を図っていく。

(3) 全体として、当財団のパンフレットを更新し、各関係部署（大学・自治体・福祉施設・団体等）に送り、当財団の取り組み助成事業を知っていただく様努力していく。

4. 株式保有している場合の概要

令和2年3月末における当財団の株式保有状況は次のとおりである。

①企業名	株式会社前川
②事務所の所在地	東京都江東区牡丹三丁目14番15号
③資本金等	170,100,000円
④事業内容	不動産賃貸業
⑤役員の数 代表者の氏名	6名（監査役を含む） 代表取締役 前川 真
⑥従業員の数	25名（非常勤勤務者・臨時雇用者を含まない）
⑦当財団の保有する株式の数 発行済株式総数に占める割合	1,459,200株 42.7%
⑧保有する理由	寄付による取得分につき、配当収入を運営資金の原資とすることを目的とし、継続して保有している。
⑨株式の入手日	昭和43年12月16日分離 昭和43年寄付による取得 1,272,000株 平成19年1月1日合併 平成19年榊高原社との合併により交付 187,200株
⑩当財団との関係	人事——特になし 資金——特になし 取引——特になし

5. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当なし

II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年6月2日法律第48号）第90条第4項第5号並びに同施行規則（平成19年4月20日法務省令第28号）第14条第1項第1号から第8号までに基づき、平成26年度第5回理事会（平成27年3月16日開催）において、内部統制システムの整備に関する基本法律を策定した。

III. 附属明細書

○事業報告の内容を補足する重要な事項

該当なし

以上